

蛭川小学校ボランティアクラブ

福祉ボランティアセンターだより

第26号

発行 社会福祉法人中津川市社会福祉協議会 福祉ボランティアセンター

蛭川小学校では、ボランティアクラブに所属する4年生から6年生までの児童（平成21年度は20人）が、蛭川地区内にある介護施設や保育園の3施設を訪問し交流をしています。歌や手遊びだけではなく、車イスの手入れやお風呂の掃除など学校では出来ない貴重な体験をしています。

児童・生徒のボランティア活動

中津川市内で活躍する中学生や高校生の

最近のボランティア活動を紹介します

中津高等学校家庭科クラブ

中津高等学校の生徒が家庭科の授業で学んだことを活かすため、休日等に子どもとの交流を行っています。最近では、3月ににぎわいプラザで、中津高校生徒5人が幼稚親子を対象にした「小麦粉ねんどづくり」を行いました。6組の親子がにぎわいプラザに集まり、高校生が絵本の読み聞かせをした後、子どもたちと一緒に小麦粉、油、色水を練り混せて粘土を作りました。出来上がったいろいろな色の粘土を使って漫画のキャラクターや果物など思い思いのものを作つて楽しく交流しました。

参加した高校生の声

- ◎はじめは慣れなくて子どもたちと距離があつたけど、時間が経つにつれてうち解けて、楽しんでくれた。
- ◎子どもの楽しんでいるところを見ると自分が良かつた。

保護者さんの声

- ◎高校生のお姉さんが相手をしてくれ、親子で集中して楽しめた。
- ◎自宅ではなかなか出来ない体験なので、こうした機会が持てて良かった。

ボランティア活動に参加する小学生の声

- ◎最初、おばあさんたちとお話し出来るか心配でしたが、みなさん、とてもやさしい方々ばかりで話がよくはづみました。
- ◎みんなが笑顔になつたときは、とてもうれしくて私まで笑顔になれました。
- ◎園児の前で合唱したときは緊張したけど、一緒に歌つてくれたのでうれしくなりました。
- ◎車イスの手入れなど、普段しないことをしましてが、気持ちよく使ってやらえるように頑張って磨くことができました。



ボランティアガわら版

ボランティア募集や福祉イベント、助成金などに関する情報交換ができるページです。

平成22年
6月～

☆企業の社会貢献活動の紹介☆

近年、企業では當利を追及するだけでなく、地域のために働くといった考え方のもとに様々な方法で社会貢献活動を行っています。今回は、社会貢献のための基金を設立している企業の一部を紹介します。

三菱電機株式会社中津川製作所では、

「マッチングギフト」を採用し、社会貢献活動に取り組んでいます。「マッチングギフト」とは、社員と社員が勤務する企業（団体等）が一體となって共同して行う社会貢献の手法です。社員によるボランティアグループ「MVKクラブ」の寄付金額と同額を会社が負担し、寄付を行う「ソシオルーツ基金」を設立し、毎年市内の福祉施設が必要とする電化製品などの寄付を行っています。



児童養護施設 麦の穂学園に、液晶テレビ（2台）、冷蔵庫（1台）、ふとん乾燥機（1台）を寄付しました。（H22・3）

社協が運営する通所介護事業所の加子母第一デイサービスセンターと福岡宅老所かざぐるまに、DVDカラオケシステムを一式（2セット）を寄贈しました。（H22・3）



富士通テン株式会社中津川工場では、「富士通テン社会貢献基金」を設立し、毎年、広く市民に役立てられる福祉用具等の寄贈を行っています。



当日は、会員15人が参加し社協職員の指導のもと、車イスの基本操作を学び、会場の大西集会所周辺を車イスを利用して体験しました。参考者のほとんどが車イス体験は初めてで砂利道や坂道や段差に苦労されたようですが、貴重な体験ができて良かったですと感想を話されました。

3月31日、市内東地区の大西婦人会（17区）が総会を利用し、会員の福祉に対する理解を深めようと車イス体験を行いました。

婦人会車イス体験

つながる・ひろがる ボランティア団体 紹介コーナー

宅老所かざぐるまボランティア

（H13・5発足 会員数39人）



宅老所発足当初は、週2日の開所日を7人でお手伝いしました。その後、宅老所が介護保険の指定を受け、開所日が週5日となり、色々なことがありました。ボランティアも徐々に増え、現在では39人が昼食やおやつ作りに参加しています。

発足当初に比べ、宅老所利用者との関わりが少なくなり、寂しさを感じていますが、利用者の方の大好きな笑い声や歌声を聞きながらのボランティアに参加することで、みなさんが元気をもらっています。



福祉ボランティアセンター 移転のお知らせ

福祉ボランティアセンターは6月から市健康福祉会館1階社会福祉協議会へ移転致します。